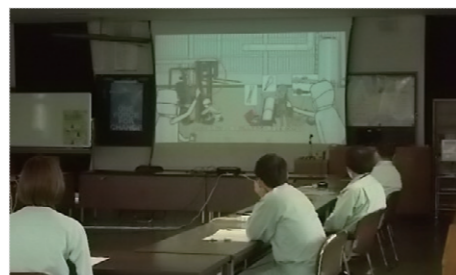


安全衛生

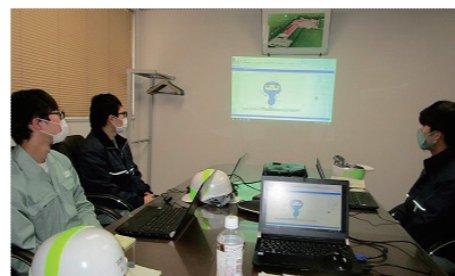
日立金属グループは「安全と健康はすべてに優先する」という考え方のもと、「安全文化の浸透」「安全な組織づくり」「設備の本質安全化」により、国内外の製造拠点で安全な職場づくりを推進しています。また、2019年6月には「健康経営宣言」を行い、グループ全社の健康な職場づくりを強化しています。

安全文化の浸透

当社グループは、安全文化の浸透に向けて、社長から安全に関する方針や考え方を伝えるとともに、現場の声を聞く「タウンホールミーティング」を2018年12月から継続開催しています。2020年度からは役員も参加して「タウンホールミーティング」を実施し、幅広く意見を聞き、経営に反映しています。製造現場でも、これまで「2S3定（整理・整頓・定品・定量・定位置）」活動を推進してきましたが、2S3定活動の範囲を安全活動まで広げ、安全文化の浸透を図っています。また、2020年11月からは、役員、事業所長／工場長、グループ会社社長、製造ライン管理者、安全担当スタッフを対象とした階層別の安全専門研修を開始しました。さらに2020年12月には、社長が主導して月例の安全品質会議を発足させ、事業所長／工場長とグループ会社社長の出席のもと安全文化の浸透についての検討を行っています。



安全衛生動画配信教育システムを用いた教育風景



安全衛生動画配信教育システムを用いた教育風景

モノづくり安全体感教育による危険感受性向上

従業員の危険感受性向上を目的に、「巻き込まれ」「挟まれ」「感電」などを体感する施設の設置を進めています。2020年度は、安来工場、茨城工場に新たに設置しました。これらの体感施設に加えモノづくり安全体感教育の充実を図るためのプロジェクトにおいてグループ全体に安全体感教育の浸透を図るとともに安全文化構築の基礎となる「モノづくり安全体感教育施設」の計画を進めています。当社のすべての従業員に安全体感教育を受講させ、安全意識の高い人づくりを推進していきます。



安来工場に新設された安全道場
全従業員の安全意識向上のため活用することを目的に設置。



回転物の巻き込まれ疑似体感学習装置
布や紐を機械装置の回転している軸に巻き込まれた場合の状況を実際に体感することができる。家庭用扇風機相当のモーターでも減速することにより強い張力が発生する。



VR装置（Virtual Reality装置）
仮想現実空間上で各作業の危険性を体感することができる。労働災害を疑似体験することで、危険に対する感受性を高めると同時に、身体に記憶させることが可能。

安全な組織づくり

2019年4月、人事総務本部の安全部門の人財を拡充し、新たに「安全衛生推進部」を立ち上げました。安全衛生推進部では、事業所の人数や規模によって必要な組織や資格取得者などを定めた「安全組織のガイドライン」を作成し、2019年度から運用を促進しています。

設備の本質安全化

中期経営計画においては、設備の本質安全化施策の実施に向けて年間20億円の安全への投資を計画しています。2020年度はグループ全社で挟まれ・巻き込まれ安全対策を優先して

健康経営

当社グループは、全従業員を対象にストレスチェックを実施し、その結果に基づいた施策を実施するなど、こころとからだの健康づくりを行っています。また、働き方改革により過重労働をなくし、生き生きと働くことができる職場環境づくりにも力を注いでいます。

2019年6月には「健康経営宣言」を行い、従業員の健康管理を経営課題として捉え、生活習慣病予防や禁煙支援などの取り組みを進め、グループ全社の健康経営施策を強化しています。

安全衛生監査

日立金属グループ安全衛生重点施策の活動や当社規則、関連法規の順守状況を確認するとともに、管理監督者への安全衛生教育を実施しています。2019年度から事業所に対する安全衛生監査を通じて、安全衛生推進計画における安全衛生重点施策の取り組みや化学物質関連の順法状況を確認するとともに、管理監督者に対し災害の傾向からヒューマンエラーの防止対策、挟まれ・巻き込まれ安全対策などの安全衛生教育を実施しました。

取り組みました。2021年度も引き続き、挟まれ・巻き込まれ安全対策を優先すると同時に、リスクアセスメントの実施によりリスクが高い作業から安全施策を実施していきます。

新型コロナウイルス感染症に対しては、2020年1月、当社は本社管理部門、事業部門で構成される対策本部を立ち上げ、スピーディーな情報共有に努めました。また、感染リスクをなくするための対応策として、海外出張を制限し、本社・支店においては、国内の出張制限を設けるとともに、オフィスへの出社制限を開始し、リモートワークへの移行を進めていきました。同時に在宅勤務のための人事制度の整備を早急に行い、IT環境の増強を進めました。

健康経営宣言

日立金属株式会社は、『最良の会社』を具現して社会に貢献することを経営理念としております。

「最良の会社」は、「社員一人ひとりがこの会社で働くことを生きがいに思える」会社であり、社員が、日々笑顔で生き活きと実力を発揮し、自分の成長を実感できる会社であるためには、一人ひとりがまず「健康」であることが不可欠です。「安全と健康はすべてに優先する」という経営方針の下、安全活動とともに社員の「健康」に注力した活動を推進することをここに宣言します。

2019年6月
日立金属株式会社